

事業所における自己評価結果（公表）

放課後等デイサービス

公表：平成31年 2月25日

事業所名：あうりんこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		・収納スペースの確保。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			・玄関にスロープ有 ・室内に段差なし。トイレは車椅子対応可。手すり有。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・意向を確認し、すぐに形にしてまず実行してみる体制を作っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			平成29年度分は公開済。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内での研修有。外部での研修にも積極的に参加。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・MAS（Motivation Assessment Scale）を利用。Vineland・IIについては現在試験中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・月案・週案を作成し、内容が偏らないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		・静と動の時間がとれるようにしている。 ・長期休暇時は宿題、外出などで普段なかなか実施できない事を取り入れるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		各々、打ち合わせを行っているが、時にバタバタしてしまうため、一呼吸おいて話が出来る状況を作れるよう気をつける。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有しているか	3	3		情報交換や打ち合わせをするようにしているが、日によっては、バタバタしてしまい、細かい打ち合わせや振り返りができないこともある。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		記録は状況と対応方法について分けて記載している。
---	--	---	---	--	--------------------------

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		受給者証を更新時と利用開始から6カ月以内毎にモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		学校に迎えに行った際の待ち合わせ場所を確認。迎え時間のズレなどのトラブル発生時の連絡先の確認。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		医療機関を受診した際は、保護者をとおして受診内容や検査結果を確認し、状況把握に努めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	・交流会や普段の送迎時など、兄弟児と関わっている。 ・兄弟児やボランティアとの交流あり。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		2	管理者が参加→伝達
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			活動時や送迎時を利用し、様子を伝える。連絡帳の活用
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		接し方等について個別に説明したり、見本を示したりする。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		相談を受けた際など十分に傾聴し、気持ちに寄り添うことは出来ていると思うが、適切な助言、支援を行うために知識、経験を深める努力をしていく。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			ケガ等あった際、理由を考え、原因を取り除いている。（すのこ除去、安全ガードの利用）
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			あうりんこ新聞を月1回発行。HPにも掲載
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	避難訓練、勤労感謝の日など
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年2回防災訓練実施。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		保護者からの情報を確認し、周知している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。